

令和 2 年 4 月 2 1 日
1 9 : 0 0
相 模 原 市 発 表 資 料

キャンプ座間における新型コロナウイルス感染対策に係る 在日米陸軍基地管理本部司令官との電話会談について

キャンプ座間において、4月20日までに、米国人1人、日本人従業員5人が新型コロナウイルスに感染していることを踏まえ、本日、市長が在日米陸軍基地管理本部司令官(トーマス R.マテルスキー大佐)及び医療局局長(マーヴィン A.エマソン大佐)と電話会談を行いましたので、お知らせします。

司令官及び局長からの主な発言

- 米国人感染者は既に回復している。日本人従業員5人の感染事案との関連性はない。
- 日本人従業員5人は、キャンプ座間内の消防隊の同一チームに所属している。現在、感染者を含むチーム全員を自宅待機させるとともに、各感染者の接触者の調査、使用施設の消毒・洗浄を実施した。これ以上の感染拡大の懸念はないものと見ている。
- キャンプ座間、相模総合補給廠及び相模原住宅地区の各消防隊の人員シフトを調整し、消防体制の維持を図っているため、業務への影響は生じていない。
- 全ての軍人、軍属及び家族に対し、基地から10kmを超える距離の外出の禁止や外出時のマスクの着用などを命じており、基地内だけでなく、周辺に対しても感染を広げることのないよう、最大限の取組を講じている。
- 相模原市民と心を合わせ、新型コロナウイルス感染症に打ち勝っていききたい。

市長からは、本市内の感染者の発生状況等について、司令官及び局長に情報提供するとともに、次のことを申し入れました。

外出しないことが最良の策である。大型連休を控え、改めて人との接触の機会を減らすよう呼びかけるので、米側にも協力をお願いしたい。
引き続き情報交換をしていきたい。

問合せ先
基地対策課
電話 042-769-8207(直通)